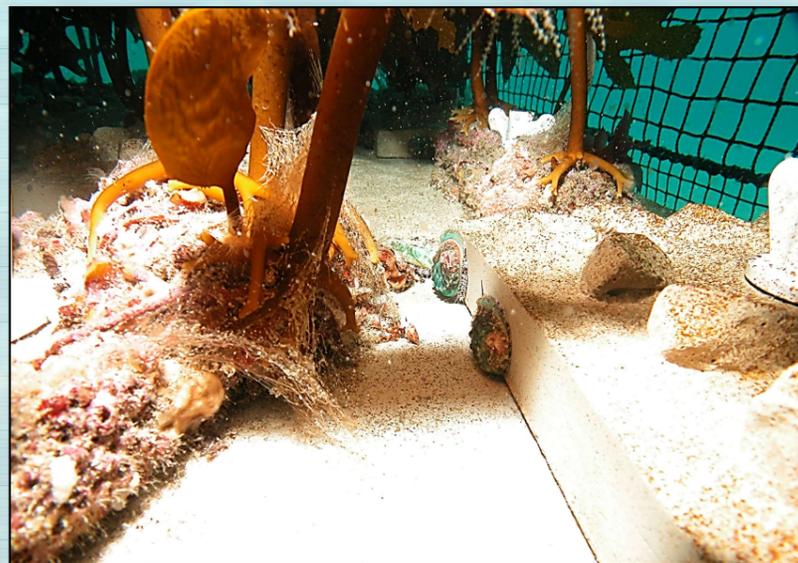


核藻場礁として15年以上の実績のK-hatリーフβ型は アワビが生育するのにも最適な環境

●アワビ育成床としての活用事例

- 心地の良い隙間 = 礁内には、9つのコンクリートブロックと専用台座を配置。
アワビが棲むのに好む35~150mmの隙間空間を形成しています。
この隙間は、天敵のタコから身を隠すのにも役立ちます。
- エサとなる海藻 = 礁内にはアワビのエサとなる海藻が生い茂っています。
アワビが1年間棲むには2つがい程度の放流が良いようです。
- ネットによる保護 = ネットは藻食性魚類による海藻の食害防止に効果があります。



放流直後



放流14か月後のアワビ



放流26か月後のアワビ



ネット外で確認された放流アワビ

住友大阪セメントの アワビ育成礁 K-hatリーフβ型の活用事例(2)



沈設されるK-hatリーフβ型(K-hatリーフβ型全景)

※実製品と仕様が一部異なります。

●アワビ育成礁の特徴

- ・ブロックと専用台座による隙間空間が天敵であるタコ・ヒトデから稚貝を守る。
- ・ネット内の海藻付プレートは着脱式。プレート交換による、餌の供給が可能。
- ・成長した稚貝は次第にネット外の天然岩礁に移動することが多い。



住友大阪セメント株式会社

建材事業部 営業統括グループ

〒105-8641 東京都港区東新橋1-9-2

汐留住友ビル20階

TEL.03-6370-2721 FAX.03-6370-2758



株式会社SNC

製品事業部 海洋製品グループ

〒811-2202 福岡県粕屋郡志免町大字志免90

TEL.092-935-2764 FAX.092-935-4379

E-mail ocean@snc-inc.co.jp

住友大阪セメント海洋製品販売総代理店